

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 10 月 5 日 (2006.10.5)

【公表番号】特表 2002-523177(P2002-523177A)  
 【公表日】平成 14 年 7 月 30 日 (2002.7.30)  
 【出願番号】特願 2000-567153(P2000-567153)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 F 2/06 (2006.01)**

**A 6 1 L 27/00 (2006.01)**

**A 6 1 L 33/10 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 F 2/06

A 6 1 L 27/00 S

A 6 1 L 33/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 16 日 (2006.8.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 心室から冠状血管まで心臓壁を通過して直接的に血流路を設ける (define) 経心筋インプラントであり、

血管内に収まるサイズの冠部 (coronary portion) と、心筋層を貫通する (pass through) サイズの心筋部 (myocardial portion) と、前記冠部および前記心筋部を接続する切替部 (transition portion) とを備え、

前記切替部に、前記冠部と前記心筋部との間での折り曲げを可能にする開口部が設けられ

、  
前記心筋部が、心筋部での組織増殖を制御する裏層 (lining) を備え、  
前記心筋部が、血栓形成を制限する物質を含むインプラント。

【請求項 2】 前記裏層の長さが、心臓壁の幅と実質的に等しい請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 3】 前記冠部の軸が、前記心筋部の軸と所定の角度をなす請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 4】 前記心筋部が、心室内に到達するサイズである請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 5】 前記冠部と前記心筋部が、伸張性 (expandable) である請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 6】 前記冠部を第一直径からより大きい第二直径まで拡大可能な請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 7】 前記心筋部を第一直径からより大きい第二直径まで拡大可能な請求項 1 インプラント。

【請求項 8】 治癒を促進する物質をさらに含む請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 9】 前記治癒促進物質が、増殖因子である請求項 8 記載のインプラント。

【請求項 10】 前記裏層が、前記物質を含有する請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 11】 前記物質が、ヘパリンである請求項 1 記載のインプラント。

【請求項 12】 前記物質が、抗凝固剤である請求項 1 記載のインプラント。

- 【請求項 1 3】 前記物質が、抗血小板剤である請求項 1 記載のインプラント。
- 【請求項 1 4】 前記裏層が、ポリエステル布で構成されている請求項 1 記載のインプラント。
- 【請求項 1 5】 前記裏層が、P T F Eを含む請求項 1 記載のインプラント。
- 【請求項 1 6】 前記裏層が、前記心筋部の内面に構成されている請求項 1 記載のインプラント。
- 【請求項 1 7】 前記切替部が、コイルを含む請求項 1 記載のインプラント。